審 判 手 帳 の 作 り 方

◎ 身 分 証 明 欄

※ 手帳の表面には氏名を記入して下さい

① 写　真

下記の者は公益財団法人日本陸上競技連盟公認審判員であることを証する。

審判員登録 第　②　号

種 別	取得年月日	承 認 印
B 級	③	埼玉陸協印
A 級	④	埼玉陸協印
S 級	⑤	日本陸連印

所 属　⑥

氏 名　⑦

生年月日⑧

現住所 ⑨

上記の審判員に委嘱する。

公益財団法人　日本陸上競技連盟　印

① 写真を必ず貼付する　（埼玉陸協割印を押す → 事務局）
② 審判員登録　埼玉陸協で記入
③ 取得年月日 ○年４月１日 承認印は埼玉陸協印を朱色で押印
④ Ｂ級を取って10年を経過するとＡ級へ （競技役員実績）
⑤ 満55歳になるとＳ級へ（実績・講習会等）日本陸連で承認・押印
⑥ 所 属　埼玉陸上競技協会 （○○市陸上競技協会）
⑦ 氏 名　埼玉　太郎
⑧ すべての記載は西暦で記入する
⑨ 現住所 正確に記入する
※ 変更があった場合は＝を引いて変更する

◎ 審 判講 習 会

	審判講習会・研修会	担当講師	年　月　日	証 印
1	講習会・研修会			埼玉陸協印
2	講習会・研修会			埼玉陸協印
3	講習会・研修会			
4	講習会・研修会			
5	講習会・研修会			
6	講習会・研修会			
7	講習会・研修会			
8	講習会・研修会			
9	講習会・研修会			
10	講習会・研修会			

最低年1回（5年で３回）は講習会を受講すること
証印は埼玉陸協印を朱色で押印

競技役員の携帯品
(1) 審判手帳
(2) 胸章
(3) バッヂ
(4) 帽子 （任意）
※ **服装は主催者が指示します。**

◎ 審 判 の 記 録

審判員登録番号 第　　号

氏　名　・　所　属　　埼玉　太郎　　埼玉陸上競技協会　（○○市陸上競技協会）

特にこの表の記入漏れが多い

審判経歴記録（手帳更新前１０年間）

年度	種別	登録番号	伝達講習会受講回数	陸協承認印				
				競技会出席記録				
				合　計	総務・他	トラック	フィールド	道路競技
2015	B	**153**	1	**13**	**0**	**9**	**3**	**1**
2016	B	**265**	1	**15**	**0**	**10**	**4**	**1**
2017	B	**185**	1	**15**	**0**	**8**	**5**	**2**
2018	B	**301**	1	**14**	**0**	**9**	**4**	**1**

☆ 登録は毎年必ず行って下さい

① 年度ごとの審判講習会・競技役員実績をまとめる
② 種別　Ｂ級・Ａ級・Ｓ級の分類
③ 審判講習会・研修会の回数・合計数
④ 競技役員の部署別の回数
※ 年度毎の集計をする

※ 審判講習会は必ず受講すること

◎ 競技役員実績

	競　技　会　名	担当部署	年　月　日	証 印
1				埼玉陸協印
2				日本陸学
3				川越陸協印
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

① 競技役員をやる時には必ず役員係に提出する
② 手帳を提出し，必要事項・証印を押印 （ 主催団体 ）
③ 手帳を忘れた場合は鉛筆書きをして後日押印してもらう
　競技会によっては鉛筆書きの指示がある（駅伝・ロードレース等）
④ 競技会によってはシールを使用する場合がある
⑤ 競技会の日程が前後しないように気をつける
⑥ 昇級には最低で年６回～10回の競技役員実績が必要です
（Ｂ級からＡ級は埼玉陸協が承認・Ｓ級は日本陸連が審査し承認）
Ｓ級公認審判員候補者はＡ級公認審判員の昇格時から添付する
実績回数が不足している場合は昇級できない場合があります
※ 年号は必ず西暦で記入して下さい
【公認競技会では必ず提出して下さい】

※ 不明な点がありましたら審判委員会にお問合せ下さい